

伊予支部

1 はじめに

伊予支部では、今年度、支部内全ての小・中学校にタブレット端末が整備された。しかし、ほとんどの学校で活用するに当たっての課題が数多くあり、試行錯誤しながら日々手探りで進んでいるのが現状となっている。

2 実践事例

(1) 夏季研修会（令和3年8月2日）

愛媛県教育研究協議会視聴覚・情報教育委員会主催の Zoom ミーティングでの夏季研修会に参加する形で、伊予地区の夏季研修会を実施した。導入の進んでいる地区の実践事例発表から、自校でも活用できそうな取組を知ったり、講演から実際に遠隔授業を行う際のコツを学んだりして、2学期からの活用に向けての良い参考になった。また、ブレイクアウトルームでの情報交換から、タブレット端末導入に当たっての問題点や、様々な地区で工夫している活用方法等を共有することができた。この研修において、情報教育主任として、各校でICT環境をどのように生かしていけばよいかを考える上で、貴重な手掛かりを多数得ることができた。

(2) 市町教育委員会との連携（松前町の取組）

松前町では、月に1回程度の頻度で町内小中学校の情報教育主任と松前町教育委員会の担当者が集まり、情報教育会議を実施している。タブレット端末導入前には、導入機種や内蔵するアプリケーションの選定について意見交換を行ってきた。導入後には、使用に当たっての問題点、家庭への持ち帰り方法、パスワード変更によるセキュリティ強化等、様々な課題について議論し、連携して解決している。会議日以外でもグループウェアのミラ임을活用して連絡を取り合い、急を要する問題に対しても迅速に対応することができている。



【情報教育会議の様子】

(3) 教職員研修の充実

今年度はコロナ禍が収まらず、またタブレット端末導入初年度ということもあり、学校間の交流を含めた授業研究は難しい状況にあった。そのため、教職員のスキルアップを目的とした研修を充実させている学校が多い。研修内容は、タブレット端末の使用方法等の基本的なことから、内蔵アプリケーションの効果的な活用方法等の応用的な内容まで多岐にわたる。外部講師を招いたり、オンライン講習に参加したりと、各校が抱える課題の解決に近づけるよう日々研修を重ねている。



【校内研修の様子】

3 成果と課題

本支部は3市町で構成されているが、それぞれにおいて導入された端末や内蔵アプリケーションが異なり、学校による差異が大きい。支部全体で共通した課題の解決に向けて研究を進めるために、各校の実情を細かく検討した上で、連携を密にしながら取り組んでいきたい。